

富士山憲章 NewsLetter

2019

7

No.129

富士河口湖町 精進湖より

写真提供 山梨県富士山レンジャー

令和元年度 富士山憲章 山梨県推進会議幹事会の開催

令和元年5月21日(火)、山梨県立富士山世界遺産センター北館研修室において、令和元年度富士山憲章山梨県推進会議幹事会が開催されました。



令和元年度富士山憲章
山梨県推進会議幹事会の様子

富士山ボランティアセンターを運営している富士山憲章山梨県推進会議は、山梨県と富士北麓地域の7市町村(富士吉田市、西桂町、忍野村、山中湖村、富士河口湖町、鳴沢村、身延町)、2つの恩賜林組合(富士吉田市外二ヶ村恩賜県有財産保護組合、鳴沢・富士河口湖恩賜県有財産保護組合)で構成されており平成10

年に山梨・静岡両県で制定した「富士山憲章」の普及啓発や富士山の環境保全と適正利用を推進する活動を行っております。

幹事会では、前年度の活動内容が報告されるとともに、より多くの方々に「富士山憲章」を知って頂き、また富士山の保全に協力して頂くための今年度事業を決定しました。

平成30年度 活動報告

昨年度も、大変多くの方々に当センターの事業にご協力頂きました。

富士スバルラインのマイカー規制期間中の混雑期、山梨県立富士北麓駐車場で実施した「富士山美化啓発キャンペーン」には、9日間でのべ103名のボランティアの方々に参加頂き、富士北麓駐車場のバス停付近にて、登山者や観光客に環境マナーの呼びかけやゴミ袋等の啓発物品を配布、また場内の清掃活動を実施しました。

富士山美化啓発キャンペーン 富士山へ向かう登山者の方々



登山者や観光客に環境マナーを呼びかけるボランティアの皆様

「第16回富士さんへ謹賀新年」富士山あて年賀状には、全国47都道府県より過去最多1861点のご応募を頂きました。富士山への愛に溢れる作品を多くの方々にご覧頂くため、山梨県内各所にて入賞・入選作品展を開催しております。富士山への想いが詰まった力作を是非ご覧ください。

富士さんへ謹賀新年



三ツ峠グリーンセンター

花の都公園

富士山レンジャー写真展



河口湖町役場

富士山樹空の森

甲府市立図書館

また、「富士山レンジャー写真展」を、山梨県内だけでなく東京都内でも開催し、沢山の方々に足をお運びいただきました。写真展では、富士山レンジャーが撮影した美しい風景や動植物、富士山が抱えている問題などを紹介しています。美しいだけでは無い、富士山レンジャーならではの視点で撮られた写真を今後も多くの方々にご覧いただきたいと思っております。

令和元年 活動報告

平成から令和に元号が変わった本年度は、未来を担う若い世代に改めて富士山憲章や富士山の保全について考えてもらうためのワークブックを作成、配布し、より多くの子供たちが富士山について学ぶために活用いただけるよう働きかけて行きます。

また、「富士山美化啓発キャンペーン」、「富士山エコトレッキング」、「富士さんへ謹賀新年」も例年通り実施します。

まず、山梨県立富士北麓駐車場で実施する「富士山美化啓発キャンペーン」は、7月13(土)～15日(月)、8月10(土)～15日(木)の計9日間行います。啓発物品を配布しながらゴミの持ち帰りなどを呼びかけるとともに、環境保全のための清掃活動も行います。

次に、令和元年度初の「富士山エコトレッキング」は、世界遺産富士山の構成資産である旧胎内(船津胎内樹型)から新胎内(吉田胎内樹型)、中ノ茶屋までの古道を散策します。富士北麓の植物相や富士信仰の史跡を実際にたどり

ながら富士山の自然と歴史を味わえるコースを予定しております。

富士山環境保全募金・寄付募集のお知らせ

富士山ボランティアセンターでは、皆様からの募金のご協力をお願いしております。皆様から寄せられた募金は、富士山の環境保全の費用として大切に活用させて頂きます。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

募金箱は、次の場所に設置されています。

- ・富士山ボランティアセンター
- ・富士山五合目総合管理センター
- ・山梨県富士山科学研究所
- ・道の駅富士吉田
- ・ふじやまビール
- ・三ツ峠グリーンセンター
- ・富士湧水の里水族館

・山中湖観光案内所

・山中湖 紅富士の湯

・山中湖 花の都公園

・富士河口湖観光総合案内所

・河口湖自然生活館

・道の駅なるさわ

・なかとみ和紙の里現代工芸美術館



リニューアルしました



平成31年2月13日(水)、マックスバリュ東海株式会社様より富士山環境保全募金へ寄付金が贈呈されました。マックスバリュ東海(株)様は、環境保全活動など広く社会貢献活動を行っており、その一環として平成17年より毎年富士山環境保全募金にご寄附頂いております。

頂いた寄付金は、富士山の環境保全のための費用として大切に活用させて頂きます。



マックスバリュ東海(株)総務部の高畑次長(左)と富士山憲章山梨県推進会議の小倉事務局長

マックスバリュ東海(株)様
寄付受納式

2019年 3月～6月

富士山レンジャー活動報告

富士山クリーンアップ事業

4月12日(金)と6月8日(土)、NPO 団体「富士山クラブ」主催富士山クリーンアップ事業の焼間清掃活動に参加しました。焼間の不法投棄は数十年前から家の解体ゴミ数軒分が土の中に埋められていて、ごみを土から掘り出しなから分別をせねばならず、機械は使えないため、継続的に人力で行っています。



土の中からゴミを掘り出して分別

4月12日は一般企業の新入社員の方々188名と一緒にしました。泥だらけになりながらの大変な作業でしたが、新入社員の方たちも気持ちよく作業して下さり、みんなとても良い汗を流しました。



活動後、野口健さんと一緒に

6月8日は別な一般企業のボランティア70名と一緒にしました。この日は当活動を応援しているアルピニストの野口健さんも参加し、1m近くのゴミを回収・分別しました。

環境省との合同巡回

富士北麓を横切る東海自然歩道のう



階段設備の点検 (大平山にて)

ち、大平山周辺と三湖台周辺は定期的にベンチや道標、あずま屋などの歩道設備の点検を富士山レンジャーが行っています。今回は管轄する環境省/富士五湖管理官事務所のアクティブレンジャーと共に5月16日(木)に大平山、5月24日(金)に三湖台を合同で点検巡回しました。



枝が折れて落ちそうなアカマツ (三湖台にて)

枝が折れて落ちそうな危険なアカマツなど幾つか対処が必要な箇所がありました。今後も東海自然歩道を皆さんが安心して利用できるよう、点検を進めたいと思います。

河口湖一万人清掃

5月26日(日)、河口湖の大石公園周辺にて、富士河口湖町、富士山クラブ、その他協力団体と共に清掃活動を行いました。中でも、ここ数年力を入れて取り組んでいるのは、アレチウリ(特定外来

生物)やオオバクサ(要注意外来生物)などの駆除です。



外来植物駆除の様子

当日は地元企業のボランティア参加もあり、約150名で行いました。

炎天下のため、短時間でしたが皆さん集中して駆除作業に取り組んで戴けました。

※別頁の記事も併せてご覧下さい。



駆除した量の計測の様子

山静神合同一斉パトロール

5月30日(木)、山梨県・静岡県・神奈川県川県の三県合同で富士箱根伊豆地域の不法投棄一斉パトロールを行い、富士山レンジャーも参加しました。



富士山世界遺産センター2階テラスにて



不法投棄の発見

富士山レンジャーは担当区域においてプランターや自動車の部品等の不法投棄を発見・報告しました。

五合目自主防災訓練

5月31日(金)、スバルライン5合目にて、自主防災協議会他関係諸団体合同で防災訓練が実施されました。



スバルライン五合目での開会式の様子

富士山レンジャーは一般客と登山客の避難誘導班に加わり、噴火警戒レベル3に引き上がった想定で、避難誘導の流れや経路を確認しました。



避難誘導の様子

新任レンジャー紹介

若木 俊一郎 レンジャー



(6月8日焼間清掃活動にて撮影)

山梨県立富士山世界遺産センターには、オープン当初より「世界遺産・富士山」を紹介する南館にスタッフとして携わってきました。解説業務を行う機会は多くありましたが、自らが実際に富士山の保全活動を実践したいという気持ちが強くなり、この度富士山レンジャーに志願しました。

日本においてやはり富士山は傑出した影響力を持つ存在。「富士山の自然を守る」というと身に余るかもしれません。「自然の一員として」と自分流に解釈したテーマを胸に、レンジャーとして学び深めたものを、皆さんにお伝えできればと思います。

そぶえ 祖父江 章好 レンジャー

初めまして。この度富士山レンジャーとなり、とても嬉しく感じております。私は歩くことが好きで、自然に触れ、楽しかった経験を得たことをきっかけに自然保護や、そのための環境保全に興味を持ち、社会に貢献できる仕事として富士山レンジャーを志望しました。

世界遺産であるこのエリアは多くの自然、歴史があり、覚えることや対応する事案は沢山あります。日々諸先輩から多くを学び、一日も早く成長して富士山を取り巻く素晴らしい環境を皆さまにご紹介できるように頑張ります。



(5月26日アレチウリ駆除活動にて撮影)

令和元年は 富士登山で決まり！

元号が平成から令和に変わり新しい幕開けの年となりました。そんな令和が充実するように日本一の富士山に登らない手はないですよ。一生に一度という人。新たな思いで再び富士山に登ろうという人。令和元年は富士登山で決まり！



現在、富士山には4つのルートがあります。須走、御殿場、富士宮、そして吉田ルート。都心からのアクセスが便利なのもあり、多くの人々が吉田口登山道から富士山の山頂を目指します。

今回は、吉田ルートにおける富士登山についてお話ししたいと思います。

夏の開山期間中に富士山頂へと向かう人の数は、年間約三十万人近くにも上ります。吉田ルートは、そのうちの約60パーセントの人々が富士山頂を目指すルートです。

富士スバルライン五合目から山頂までの標高差は、1500メートル余りもあり、行程の半分は標高3000メートル以上なので体力的な限界や高山病などの危険も伴う登山でもあります。富士山へ登る際には、「より安全で快適な登山」にしたいですね。「安全で快適な登山」をするために、山小屋を利用して一泊二日の富士登山を計画し心も身体もゆとりのある登山をお勧めします。それでは富士登山について紹介していきます。



高山病と低体温症

日本一高い富士山へ登る際は、二つの注意すべき症状があります。

一つ目は、**高山病**、二つ目は、**低体温症**です。まず、**高山病**についてお話しします。標高2500メートルを超えるると酸素濃度が平地の二分の一程度となり高山病を発症するリスクが高まります。富士山五合目の標高は、2305メートルです。高山病予防のために五合目に着いて「すぐに出発！」ではなく五合目の標高（環境）に身体を慣らす時間を1〜2時間程度とりましょう。その時間を使い総合管理センターで富士山の情報を得たり、センター前で準備運動（ストレッチ）を行い出発しましょう。登山中は、深い呼吸を心掛け普段の半分のペースでゆっくり歩くこと、水分補給をこまめに行うことを心掛けましょう。それでも初期症状の頭痛、食欲低下、吐き気、嘔吐、全身倦怠感や脱力感を感じたら無理をせず下山をしましょう。高度を下げるのが高山病の最良の対応策です。

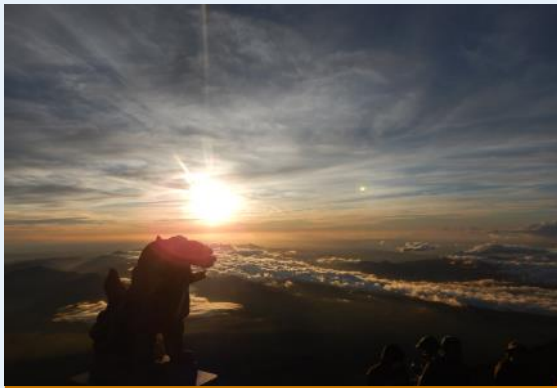
次に**低体温症**についてお話しします。標高1000メートルに満たない低山や、真夏でも低体温症は

発症します。季節や標高に関係ありません。人間が生命維持をするための脳や心臓、肺といった器官の温度（深部体温）が35度以下に下がると命にかかわる場合もあります。初期症状は、寒気、全身の震えです。それを過ぎると意識障害が生じます。低体温症を未然に防ぐために、雨具、防寒具を着用する、濡れた衣類は着替える、糖質等をこまめに摂る、冷たい雨風を防ぐ、意識的に温かいものを飲む等対策をとりましょう。

休憩と水分補給

富士登山成功のポイントとしては、高山病や低体温症の予防が大切であり、それには「休憩」と「水分補給」、「糖質の補給」が重要です。

五合目から六合目の間は、30分に一度休憩と水分補給等を行いましょ。身体が慣れてきたら、約1時間を目安に10分から15分程度の休憩をとり、歩くペースを安定させるよう心掛けてください。気分が落ち着くと自分の身体の変化にも気が付き易くなるでしょう。休憩をとる際には、水分や糖質の補給、装備の確認やウェアの調整をしましょう。休憩場所は、他の登山者の邪魔にならず落石等の危険のない比較的広くゆっくり休める場所を選んでください。



準備



- ・吸水速乾性素材のウエア、アンダーウエア
- ・フリース、ダウン等の保温ウエア
- ・レインウエア（上下別）
- ・トレッキングシューズ
- ・ヘッドランプ

あとと便利なもの



サンングラス、トレッキングポール、ヘルメット、グローブ、スパッツ、帽子、日焼け止め、ゴミ袋、小銭、行動食、飲料水、常備薬等。

装備は、登山用のものが良いです。準備も怠らずに万全に。

※六合目安全指導センターにてデポジット制の無料ヘルメットの貸し出しを行っております。是非活用して安全に登山を楽しんでください。

また、安全対策と環境保全の為に富士山五合目から先へ行かれる全ての方を対象に富士山保全協力金（一〇〇〇円）のご協力をお願いいたします。

富士山のトイレはチップ制です。（小銭の用意を忘れずに）

山小屋について



富士山の山小屋は予約制です。天候等の事情でキャンセルする場合は必ず連絡しましょう。山小屋は一般の宿泊施設とは違いとても簡素です。食事をしてゆっくり身体を休めましょう。また多くの登山者が休憩しているので、静かに過ごすようにしましょう。

いざ、富士山頂へ

五合目〜六合目

五合目から六合目は緩やかな道をたどるルートです。泉ヶ滝までウォーミングアップしながら六合目安全指導センターまで歩きましょう。センターに到着し、ヘルメットを借りたらいよいよ富士山頂までの登山が始まります。

六合目〜七合目

六合目からは砂礫のジグザグ道を歩きます。ここから先は日影が少ないので天候により日焼け止め対策を万全に。ジグザグ道の先に山小屋が見えてきたらあと少しで七合目です。

七合目〜八合目

溶岩のゴツゴツした岩場を登る途中に富士山屈指の急登があります。一步一步確実に。七合目最上部の山小屋を越えて岩場を登ると、いよいよ標高3000メートルを超えます。そして八合目の救護所を併設した太子館に到着。

八合目〜本八合目

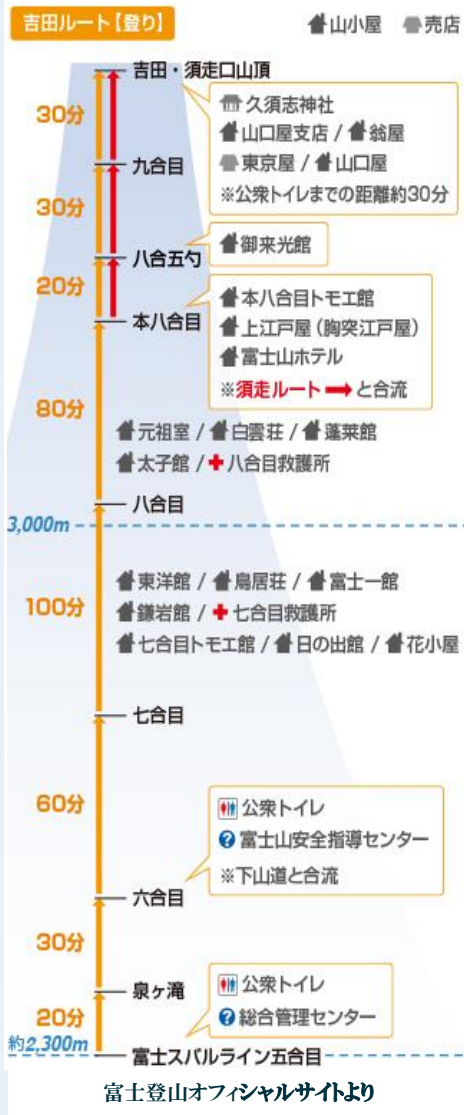
このあたりから高山病の症状が特に出易くなります。一日目は予約した山小屋でゆっくり休んで翌日に備えるようにしましょう。須走口との合流地点の本八合目までは比較的緩やかな砂礫道ですが、休憩を忘れず焦らずにゆっくり登りましょう。

本八合目〜吉田口山頂

傾斜のあるジグザグ道を登り、九合目を越えます。最後に息を整えてゆっくりと鳥居をくぐると久須志神社があります。吉田口山頂によりやく到着です。

下山について

八合目の須走口との分岐で道を間違えないように要注意。そこからは埃の舞う長いジグザグ道を降りていきます。緊急避難小屋と七合目トイレがあります。山頂で水分の補充、トイレを済ませてから下山して下さい。



注意:ここに記載されているものは基本的な富士登山の情報です。必ず「富士登山オフィシャルサイト」で入念に下調べをして富士登山を成功させましょう。

富士登山オフィシャルサイト: <http://www.fujisan-climb.jp/>

富士 さん歩



外来生物に指定され、河川敷や湖畔などを中心に全国的に広がりを見せている。

アレチウリは非常に繁殖力が高く、他の植物に覆いかぶさり光をさえぎって枯らしてしまう。河口湖では大石地区などの湖畔

今回の「富士さん歩」は外来生物のお話。現在、国内にはたくさんのお外来生物が入ってきている。多くの人は外来生物と聞くとアライグマやブラックバスなどを思い浮かべると思うが、富士山の周りにもオオブタクサやオオハシゴソウ、オオキンケイギク、フランスギクなどたくさんのお外来植物が移入してきており、大きな問題となっている。

その中でもアレチウリというウリ科の植物は環境省の定める駆除すべき特定



アレチウリにより押しつぶされたヨシ



アレチウリの幼芽。きゅうりに似ている

アレチウリを駆除するためには、地道に根から抜いていくしかない。しかしツルや根が残っているとそこから再生してしまうので、ツルをたどって確実に根っこを引き抜かないといけない。高い繁殖力を持っていても、根っこから抜いてしまえば簡単に枯死してしまうので、小さいうちに抜き取ることが楽で確実な駆除となる。また非常に多くの種子を生産するので、結実前の駆除が重要だ。花をつけ始める8月下旬までに駆除しなければ、スズメバチが寄ってきて危険な上、1株で数百〜数千個の種子をつけるため、次の年にはまた元通りになってしまう。数年経ってから発芽する種子もあるので、継続して駆除活動をしていく必要がある。

河口湖のアレチウリは2013年に河口湖アレチウリ一掃作戦実行委員会（富士河口湖町、山梨県富士山科学研究所、富士山クラブ、山梨県富士山レンジャー）を組織し、毎年、駆除活動を行っているが、いまだ根絶には至っていない。私有地や耕作放棄地、人が入り込めなくて駆除活動の実施が困難な場所にも繁殖しており、人手も足りない状況だ。そして一般にあまり知られていないことも一因である。是非、家の畑などを見回りして、アレチウリやその他の外来種が生息していないかどうか確認してほしい。

特定外来生物については環境省のHP (<https://www.env.go.jp/nature/intro/index.html>)などを参考にし、在来種と外来種の区別をしっかりとつけてから活動するようにしよう。



要注意外来生物のオオブタクサ



駆除活動の様子

山ごはんのすすめ

ニューズレター読者のみなさん！！ 山に登っていますか？ 山で何を食べてますか？ 山で食べるごはんって美味しいですね！ 山好きの富士山レンジャーが、アウトドアでいただく簡単なメニューのうち、現地に携帯用のガスバーナーやクッカーを持って行って、さっと作れる3種をご紹介します。

ガスバーナー(左)



ガスカートリッジ(右)

2つ(右と左)を接続
するところになります

完成図



*登山用品店へ行くと山岳用・キャンプ用の調理道具が揃っています。

調理の際は、平らな地面やテーブルの上で直接風が当たらないよう工夫して行って下さい。また、不安定なので調理中や調理後にうっかり倒さないよう注意しましょう。

焼き鳥缶とコンビニおにぎりの雑炊

1. 缶詰の焼き鳥を*シェラカップ*に入れる。
2. おにぎりをその上に置く
3. お湯を適量注ぎ、ほんだし少々を入れる。
4. 火にかけて、沸騰したらネギを入れて出来上がり。



アルミの食器セット



シェラカップ

両者とも火にかけることもできますが持ち手が熱くなるので軍手などをして調理しましょう。

出発前にコンビニに寄って材料を調達できます。焼き鳥缶は「ホテイのやきとり」がおすすめ。缶詰の味とおにぎりの具はお好みで。

野菜たっぷりのスープパスタ

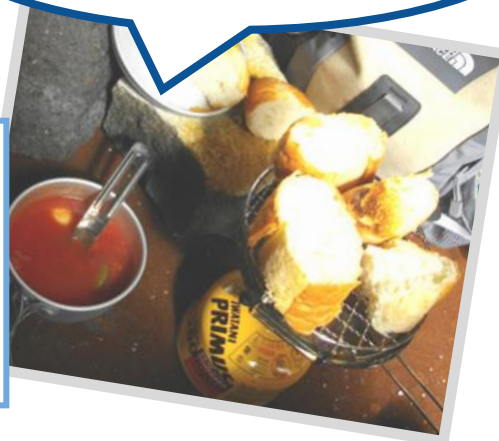
1. お湯を沸かし、干し野菜を入れてゆでる。
2. 1へ早ゆでパスタ(3分でゆであがるパスタ)を入れてゆでる。
3. ミネストローネスープの素を入れた器にゆで汁を少し注いで溶かす。
4. 干し野菜とパスタを3に入れて混ぜ、味を見ながらゆで汁を足す。
5. ローストガーリックを載せる。

干し野菜は家で用意を。ニンジン、ピーマン、ズッキーニ、タマネギなどを食べやすい大きさに切って、1~3日(好みと天候状況による)日光の下で干す。

チーズがトロロ！！火を止めてから入れるので溶けてしまわないけれどふわふわ！あぶったバケットのかりかりと相性抜群。

バゲットとトマトのスープ

1. バゲットは3~4センチの厚さに切って網であぶる。
2. トマトの水煮(缶または紙パック)に水とコンソメを適量入れて火にかける。
3. 沸騰したら火を止めてキャンディー型のチーズを好きなだけ入れる。



富士山世界遺産センターだより10号

■山梨県立

富士山世界遺産センター

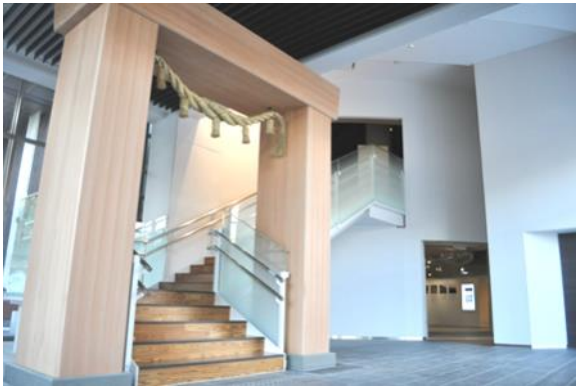
展示紹介

富士山世界遺産センターには、富士山の約1000分の1のスケールでつくられた「富嶽三六〇」をはじめとして、様々な展示物があります。今回は、富士山世界遺産センターの展示物について紹介します。

●富士山ゲート

富士山世界遺産センターの南館に入ると、大きな鳥居を模した、「富士山ゲート」が来館者をお迎えします。一説によると、鳥居には「鳥居より先は神様の領域」であることを意味するそうです。

富士山ゲートは鳥居ではありませんが、神聖な富士山へと登るような気持ちで、二階に上がっていただければと思います。



富士山ゲート

●富嶽三六〇と御中道

二階に上がると、目の前には2016年にクールジャパンアワードを受賞した「富嶽三六〇」を見ることができま

す。富嶽三六〇をぐるっと一周する回廊は、富士山の、「御中道」と呼ばれる道をイメージしてつくられています。

富士山の中腹を一周する御中道は、かつて富士講の行者たちの中でもとりわけ重要な修行の地となっていました。

御中道で修行をするためには、富士登山の経験と、誓約書などが無ければ通る許可が下りなかったそうです。御中道回廊をまわることで、富士山の御中道を疑似体験できます。

また、回廊の北側でご覧いただける映像では、富士山の自然や人々の信仰についての様子を鑑賞することができます。



富嶽三六〇と御中道

●ふじめぐり

富士山世界遺産センターでは、専用アプリである「ふじめぐり」を活用して館内を巡ることが出来ます。

例えば、北口本宮富士浅間神社の展示を、「ふじめぐり」をインストールした、スマートフォンやタブレットで見ると、画面の中で人物が動き出します。

この神社は、富士山を北側から仰ぎ見る場所で、1480(文明12)年に、「富士山大鳥居」が建立されました。社殿は16世紀に建立され、富士講行



北口本宮富士浅間神社 AR展示

者が集って大いに栄えました。

また、「富士御室浅間神社」・「河口浅間神社」などの展示も同様に動きます。

ほかには、「富士山百人百話」もふじめぐりを利用して楽しむことができます。この展示では、富士山に関連する人々が紹介されています。ARで動き出したり、話したりする歴史上の人々をお楽しみください。



●富士山ライブラリー

富士山世界遺産センター内にある富士山ライブラリーには、葛飾北斎や歌川広重の本をはじめとして、資料集・歴史書漫画など様々な種類の本が約1500冊所蔵されています。入館は無料です。本を読みに来るだけでなく、ご来館ください。



富士山ライブラリー

●ふじめぐりの案内音声

富士山世界遺産センターの専用アプリ「ふじめぐり」に採用されている案内音声は、有名な元プロテニスプレーヤーであり、日本一アツい男(?)である松岡修造さんが解説をしています。館内では、松岡修造さんからのメッセージ動画も見ることが出来ますので、探してみてください。

富士山に登る前に一度、様々な展示で解説する富士山世界遺産センターで楽しく学んでみてはいかがでしょうか。

富士山世界遺産センターだより10号

富士山世界遺産センターの調査研究活動について報告します。

昨年度の調査について

当センターは昨年度、富士山麓に存在する、信仰拠点となった溶岩洞穴と、それらを結ぶ道に関する調査を実施しました。

富士山の噴火によって流下した溶岩で作られた洞穴のなかには、信仰の場として利用されたものがあります。国指定天然記念物の船津胎内樹型はそのうちのひとつであり、近世には多くの富士講行者が参拝し胎内潜(洞穴を胎内に見立てて潜る行為)を行いました。



▲無戸室浅間神社境内(船津胎内)

▲「富士一山北口明細御絵図面」



富士講の行者は、富士山へ参詣する道の傍らに、あるいは信仰の場そのものに、己の信仰を示す石造物を建立しました。船津胎内周辺にも十三基が確認できますが、例えば拝殿の脇に立つひととき巨大な石碑は、明治九年に丸藤講の創始者高田(藤井)藤四郎の百回忌にあたり建てられたもので、藤四郎が船津胎内を発見し開いた経緯と講員八百余名の名前が刻まれています。また、武州(埼玉)・総州(千葉)の丸明講は、現在の第十六号溶岩樹型を「たい様御胎内」として開いたことを記した石碑や道標を建てており、山吉講や御神

酒講なども記念碑を造立しています。これらの石造物は、当時からこの場所が信仰上重要視されていたことをうかがわせます。

これらの調査成果の一部を、七月に実施する富士山エコトレッキングで、現地を歩きながら紹介します。

センター研究紀要を公開

富士山世界遺産センター研究紀要『世界遺産富士山 第3集』を発行しました。文学・民俗・考古・建築の各分野の論文・報告のほか、前述の溶岩洞穴の信仰に関する調査報告も掲載しています。センターのホームページ上でも公開していますので、ぜひご覧ください。

(<http://www.fujisan-whc.jp>)

研究紀要『世界遺産富士山』



企画展「富士山大鳥居 —吉田口登山道の起点—」

◇日時 7月24日(水)～ 9月23日(月)

(8月27日は休館日)

◇会場 富士山世界遺産センター 南館 富士山ステーション

◇内容 吉田口登山道の起点となる富士山大鳥居(北口本宮富士浅間神社所在)について、その造立や造替などについて広く紹介し、富士山の信仰のあり方を紹介します。



富士山美化啓発キャンペーン ボランティア大募集！！

「美しい富士山を後世に引き継ぐために…」

富士山ボランティアセンターでは、富士スバルラインのマイカー規制中の混雑日に、登山者や観光客にゴミの持ち帰りなどを呼びかけるボランティアを募集します。また、富士山周辺的环境保全のための清掃活動も行います。

皆様の積極的なご参加、お待ちしております！！

実施期間：8月10日(土)～15日(木) ※期間中は何日でも参加できます。

9時集合～11時30分散会予定

活動場所：山梨県立富士北麓駐車場(富士吉田市上吉田字剣丸尾5597-84)

集合場所：富士山ボランティアセンター(南都留郡富士河口湖町船津6663-1)

(山梨県立富士山世界遺産センター北館内)

募集人数：各日10名程度

持ち物等：帽子、飲み物、カッパ、動きやすい服装等

募集締切：8月7日(水) 午後5時まで

富士山美化啓発キャンペーン

検索

応募先

〒401-0301 山梨県南都留郡富士河口湖町船津6663-1(富士山世界遺産センター北館内)
富士山ボランティアセンター TEL 0555-20-9229

富士山レンジャー写真展

山梨県富士山レンジャーが撮影した美しい風景や植物、富士山が抱えている問題などを紹介しています。

今後の写真展開催日程

6月28日(金)～7月30日(火)

アウトイングプロダクツエルク

6月29日(土)～8月29日(木)

談合坂サービスエリア(下り線)

9月1日(日)～9月15日(日)

山梨県立図書館

9月13日(金)～10月10日(木)

富士吉田市立図書館

10月25日(金)～11月11日(月)

河口湖ショッピングセンターベル

主催：山梨県・富士山憲章山梨県推進会議
問合せ先：山梨県立富士山世界遺産センター内
富士山憲章山梨県推進会議 TEL:0555-20-9229